



DC Promotion Association

# 相場の急落時、 DC の資産運用はどうする？

一般社団法人確定拠出年金推進協会

2024/10/25 配信

## DC ニュースレター

2024 年 8 月 5 日、東京株式市場で日経平均株価が大きく下落しました。前週末比 4451 円（12%）安の 3 万 1458 円で取引を終えたこの日の下落幅は、過去最大を記録しました。これは 1987 年 10 月 20 日のブラックマンデー翌日の 3836 円安を上回る規模で、下落率も歴史上 2 位となりました。

この急落により 2023 年末の終値（3 万 3464 円）を下回り、2024 年に入ってからの上昇分が全て帳消しになったとも言われています。海外の機関投資家やヘッジファンド、個人投資家など、多くの市場参加者が一斉に売りに動いたことが、この急落に拍車をかけたと考えられています。

このようなニュースを目にしたとき、多くの投資家は不安や焦りを感じるでしょう。「このまま下がり続けるのではない」「資産が目減りしてしまう」といった心配が頭をよぎるかもしれません。しかし、このような時こそ冷静になり、投資の本質に立ち返ることが重要です。特に、確定拠出年金（DC）で資産運用をしている方々にとって、この視点は非常に大切です。

### 【DC の主な目的を思い出そう】

DC で資産運用をする多くの人の目的は、「働いている間で、コツコツ積立投資を行い、退職後の資産を作ること」です。この目標を念頭に置くと、市場の短期的な変動に一喜一憂する必要はありません。

確かに、急落の直前に売却し、最安値で買い戻すことができれば大きな利益になりますが、これは未来を予測できない限り、プロの投資家でさえ極めて難しい戦略です。

### 【長期投資の視点で見る急落の意味】

DC や NISA などの長期投資において、市場の急落は必ずしもネガティブな出来事ではありません。むしろ、良い投資機会と捉えることができるのです。その理由は以下の通りです。

#### 歴史が証明する回復力：

株式市場は長期的には上昇傾向にあります。過去の大きな下落局面を見ても、市場は回復しています。例えば、2020 年の新型コロナウイルスによるショック時は約 5 ヶ月で回復し、2008 年のリーマンショック時も 5 年ほどで下落前の水準に戻っています。

#### ドルコスト平均法の効果：

定期的に一定額を投資する DC の特性は、ドルコスト平均法と同じ効果があります。市場の上下に関わらず平均的な価格で購入できるため、長期的には有利に働きます。特に、下落時には同じ金額でより多くの投資信託を購入できるため、将来の上昇局面で大きな利益につながる可能性があります。

#### 複数の時間軸で見る重要性：

市場の変動は、見る時間軸によって印象が大きく変わります。例えば、今回の急落を日単位※図 1 で見ると衝撃的ですが、週単位※図 2 や月単位※図 3 で見ると、その影響は和らぎます。8 月 5 日の急落後、9 日には 3 万 5025 円まで回復しており、週単位で見ると下落幅は 884 円にとどまっています。

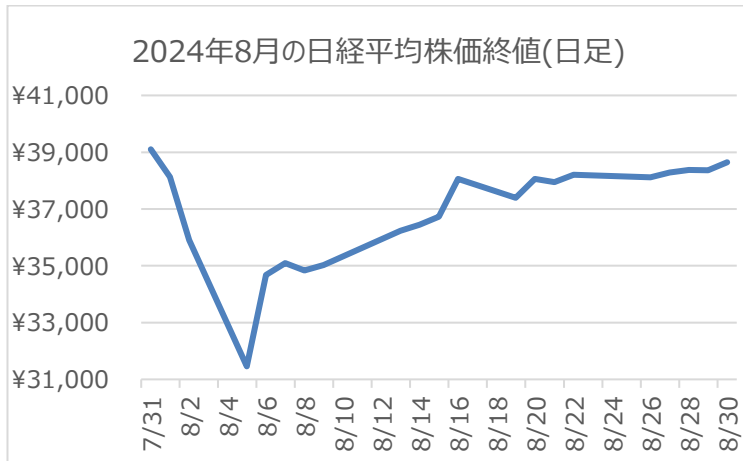


確定拠出年金に関するご相談窓口はこちら  
TEL 03-5689-3358  
MAIL 401k@member.deco-pa.com

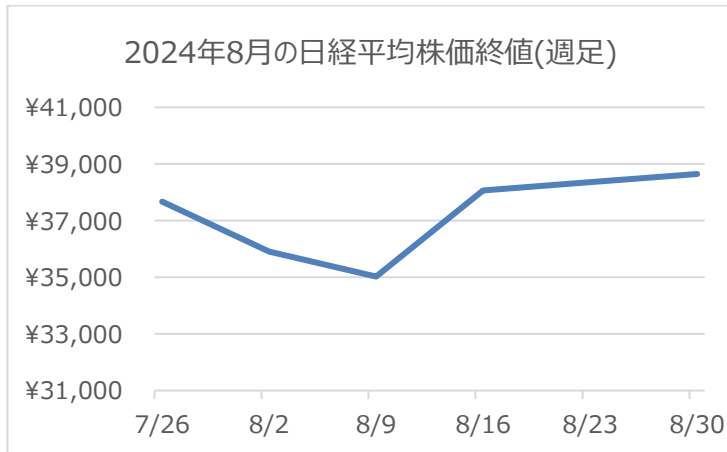
一般社団法人確定拠出年金推進協会  
東京都文京区後楽 2-2-14 トークスビル 1F  
<https://www.deco-pa.com>



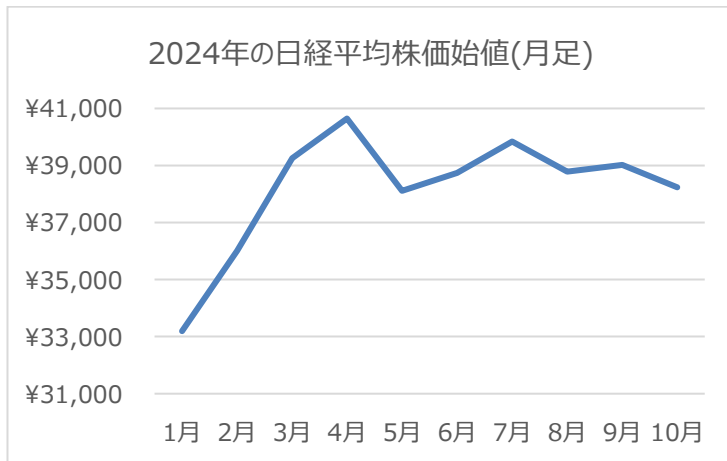
※図 1



※図 2



※図 3



### 感情的な判断を避ける：

市場の急落時に慌てて売却してしまうと、その後の回復の機会を逃してしまう可能性があります。長期的な視点を持ち、冷静に判断することが重要です。

DC や NISA で投資している多くの個人投資家が今回の急落でも売却せずに保有し続けた理由としては、以下のようなものが考えられます。

- ・NISA 口座の売却は今年の NISA 枠を使ってしまう
- ・相場下落時は購入のチャンスと捉えた
- ・長期的な市場成長への信頼
- ・急落時に慌てないという過去の経験からの学び

これらの理由に関わらず、長期的な市場成長を前提とすれば、保有し続けることは賢明な戦略と言えます。

### 【出口を意識した運用戦略の重要性】

DC には「出口」、つまり資金を引き出す時期があることを忘れてはいけません。退職時期が近づいてきたら、急落リスクを考慮したポートフォリオ調整が必要になります。

具体的な対策として、以下の戦略が挙げられます。

- ・リスク資産の比率調整
- ・ターゲットイヤーファンドの活用
- ・定期的なリバランス
- ・複数の運用商品の利用

これらの戦略を適切に組み合わせることで、退職時期に向けてリスクを軽減しつつ、効果的な資産形成を続けることができます。

相場の急落は確かに不安を引き起こしやすいものです。しかし、それを投資機会と捉え、冷静に対応することで、より効果的な資産形成が可能になります。市場の変動に一喜一憂せず、着実に積立を続けることで、将来の安定した生活に向けた資産形成を実現できるでしょう。

専門家のアドバイスを活用するのも良いかもしれません。



確定拠出年金に関するご相談窓口はこちら  
TEL 03-5689-3358  
MAIL 401k@member.deco-pa.com

一般社団法人確定拠出年金推進協会  
東京都文京区後楽 2-2-14 トークスビル 1F  
<https://www.deco-pa.com>

